

かかわり方のポイント②

今回は、前回3つにわけた行動の中の「好ましくない行動」を減らすかかわり方についてです。

好ましい行動	好ましくない行動	危険な行動
例)・「おはよう」という ・着替える	例)・食事中に手を止めてテレビを みている ・お母さんが料理をしていると きに話しかけ続ける	例)・弟を叩く ・物を投げる
↓	↓	↓
肯定的な注目を与える (褒める、認める、 笑顔を返す等)	無視＝注目を取り去る (好ましい行動を待つ→褒める)	制限を設ける (警告とペナルティ)

<無視＝注目を取り去り、好ましい行動が出てくるのを待つ→褒める>

- ・お子さんの「存在」を無視するのではなく、「好ましくない行動」を無視する
- ・無視が効果的に働く行動・・・相手の注目をひくためにわざとやっている行動
ダメだとわかってやっている行動
相手の反応を面白がってやっている行動

無視のポイント

- ① 好ましくない行動がみられたらすぐに
- ② **視線を合わせず、体の向きを変える** (お子さん自身がわかりやすい・気づきやすい!)
- ③ **無言を徹する** (別のことをしていても良い)
- ④ 少しでも好ましい行動に変わってきたら、**25%ルールですかさず褒める!**

※ 途中、声をかけたり視線が合うと、失敗しやすい…

「無視→待つ→褒める」の流れで1つ!! (無視だけで終わらない)



<お子さんの協力を増やすために…効果的な指示を出す>

ポイント

- ① 注意をひく
- ② 視線を合わせる
- ③ 具体的で短い指示
- ④ CCQ を心がける
- ⑤ 25%ルールで褒める

C … Calm 穏やかに
C … Close もう少し近づいて
Q … Quiet 声のトーンを抑えて静かに

<その他>

- * 指示を繰り返す（すぐに従えるとはかぎりません。CCQ を心がけましょう）
- * 命令ではなく、やるべき行動の内容を具体的に伝える
例) 「走らない」→「一緒に歩こうね」
- * 予告（気持ちの準備を）
例) 「長い針が〇になったらごはんだよ」 「あと〇回で止めるよ」
- * 選択（自分で決められて前向きに）
例) 「AとB、どっちにする？」
- * 見通し（やる気UP）
例) 「～したら、～できないよ」→「～したら、～しようね／～できるよ」



→ この途中に、お子さんが好ましくない行動をしたら、無視＝注目を取り去りましょう。
応じてくれたら、25%ルールを心がけて、すかさず褒めましょう！



ご不明な点・お悩み等ありましたら、お気軽にお電話ください。
(電話対応については別ページの案内をご参照ください)

<参考>

子どもたちに肯定的な注目を(第四版) 日本肢体不自由児協会心身障害児総合医療療育センター(平成28年10月1日)